

対象国の条件 : アフリカ地域

研修コース番号 : (A) J1804260 / (B) J1804245

案件番号 : (A) 1884417 / (B) 1884418

主分野課題 : 保健医療/保健医療システム

副分野課題 :

使用言語 : (A) 英語 / (B) 仏語

案件概要

本コースは、講義・実習・視察を通して、我が国の保健行政に関する基本的理念、歴史や制度を把握すると共に、地方保健行政改善のための取り組みを多角的に把握することを目的とする。北海道や九州は医療機関が偏在している中で保健システムとサービス向上に取り組んできた実績を有しており、これらを具体的な参考事例として、共通課題を持つアフリカ各国における問題解決に必要な取組みを検討する。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 地域の保健医療行政担当官が、所掌地域の保健医療計画および行政サービスの向上に資する具体的かつ実現可能な改善提案を提出し、所属組織において検討される。</p> <p>【成果】 1. 日本の保健・医療・福祉政策の内容と行政の役割を理解し、参考とすることによって、自国での効果的な政策を考える基礎が形成される。 2. 地域保健計画の策定に必要な知識と技術を習得する。 3. 日本の地方における課題解決の取組みの歴史を事例から学び、自国での実施可能な解決策を展望することができる。 4. 研修員の担当地域における解決すべき健康課題を特定できる。 5. 自国の現在の地域保健計画における問題点を踏まえ、アクションプランを作成すると共に、帰国後の地域への啓発方法を考察する。</p>	<p>【対象組織】 地域の保健計画や保健医療サービスを担当している行政機関またはそれに準じる組織</p> <p>【対象人材】 1. 地域保健管理のための地域行政官、又は地域保健管理計画の作成に関わる職員 2. 地域保健行政分野において5年以上の経験を有する者 3. 公衆衛生分野の学歴を有する者</p>	
<p>内 容</p> <p>1. 日本の人の健康にかかわる行政の体制と活動概要/感染性疾患の蔓延防止の対策/グローバルな視点から結核対策/日本のハンセン氏病に対する対応/日本の医療提供の概要/日本の保健統計の推移/日本の母子保健、小児保健、学校保健の概要/日本の公衆衛生看護の歴史・時代背景・役割/遠隔ICTを活用した医療の均等化/日本における公衆衛生看護の歴史・時代背景・役割/日本の学校保健活動/日本の環境保健と産業保健の概要</p> <p>2. 地方の公衆衛生の向上と増進の活動/公衆衛生の第一線機関としての保健所の役割/地域保健活動に役立つ健康データの種類と収集方法/地域における介護/過疎地域における市町村レベルの保健行政/地域保健関連施設（食品保健・環境保健・産業保健）の実務/地方における医療機関と地域保健業務の連携/地域保健関連施設（環境保健・産業保健）の実務/地方中規模病院の管理運営の実際/アフリカにおける保健強化・キャパシティデベロップメント実践</p> <p>3. 日本の地域保健・医療における行政機関の役割/地方での結核予防対策/地域の結核治療</p> <p>4. P C M（プロジェクト・サイクル・マネジメント）手法</p> <p>5. アクションプランの策定</p> <p>その他：個別テーマに沿った研修員ディスカッション、デイリーレポートの作成、医大生との意見交換など</p>	<p>本邦研修期間</p> <p>(A) 2018/6/11～2018/8/8 (B) 2018/7/4～2018/8/2</p>	
	<p>担当課題部</p> <p>人間開発部</p>	
	<p>所管国内機関</p> <p>(A) JICA北海道（札幌） (B) JICA九州</p>	
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p> <p>2017～2019</p>	
<p>主要協力機関</p>	<p>(A) 旭川医科大学 / (B) 長崎大学</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>		